

2023年度
鳥居龍蔵記念

徳島歴史文化 フォーラム 報告書



2024年

2月17日 [土]

中学生の部 10:00~12:00

高校生の部 13:30~15:30

主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 徳島県立博物館

後援 徳島県博物館協議会

目次

| | |
|-------------------------|---|
| プログラム | 1 |
| 中学生の部 | 2 |
| 高校生の部 | 4 |
| 審査結果、審査委員、ガイダンス講座、現地研修会 | 6 |
| 鳥居龍蔵記念 全国高校生歴史文化フォーラム | 8 |



とり いりゆうぞう
鳥居龍蔵 (1870 - 1953)

1870(明治3)年に現在の徳島市東船場で生まれた考古学・人類学・民族学の研究者。20歳で上京し、東京大学人類学教室の坪井正五郎に師事した。そして、日本国内はもとより、台湾、中国西南部、中国東北部、朝鮮半島、シベリア、サハリン、千島列島など、東アジア各地のさまざまな民族の言語、習慣、生活文化を調査したり、遺跡の発掘調査を行った。その膨大な調査成果の主要なものは、『鳥居龍蔵全集』全13巻にまとめられている。

2023年度 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム プログラム

日時：2024年2月17日(土) 10:00～15:30

会場：文化の森イベントホール

■中学生の部■ 10:00～12:00

研究報告1 「地名から読み解くマイルーツ探訪～牛島八幡神社とわたし～」

鳴門教育大学附属中学校 川原 もも香

研究報告2 「ラジオ塔を知る」

鳴門教育大学附属中学校 木下 倫歌

研究報告3 「洪水から命を守れ!!これぞ究極の洪水対策
国指定重要文化財・日本遺産「田中家住宅」

鳴門教育大学附属中学校 新田 翔平

■高校生の部■ 13:30～15:30

研究報告1 「八万の今昔 洪水と人々の暮らし～フィールドワークで得たもの～」

徳島県立城南高等学校 池淵 万悠希、岩佐 千保、
後藤田 琴音、山橋 あゆみ

研究報告2 「牛岐城と城主新開氏・その周辺の歴史について」

徳島県立富岡東高等学校 露口 智理

研究報告3 「有事の日本で活躍した曾祖父の生涯をたどる」

未来高等学校 松本 雄介

地名から読み解くマイルーツ探訪 ～牛島八幡神社とわたし～

鳴門教育大学附属中学校
川原 もも香

■研究の概要

私の居住地の地名が「東宮間（ヒガシミヤナイ）」と呼ばれているが、なぜそのようにいわれているのか気になった。そこで、地元にある牛島八幡神社に関わるものと考え、神社総代をしていた曾祖父の記録写真、曾祖母への聞き取り、関連する文献などによって、調査を行った。地名に関する疑問は解けなかったが、牛島八幡神社のお宮のまわりを見守る意味で、氏子たちが実際に活動していたことが分かった。今後は、過去の文化や行事と、現在に継承されている行事について調べていきたい。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

牛島八幡神社（吉野川市）

■利用した博物館・資料館等

徳島県立博物館、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館



ラジオ塔を知る

鳴門教育大学附属中学校
木下 倫歌

■研究の概要

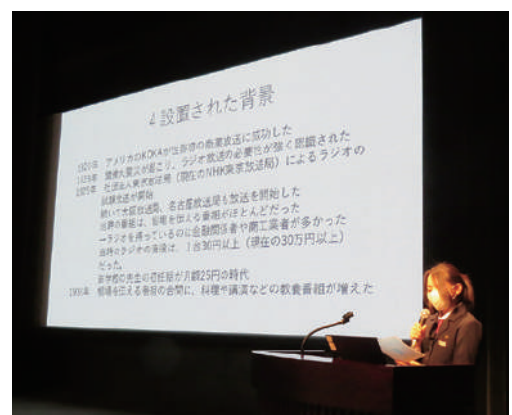
自分にとってラジオは身近なものであるため、ラジオ塔について調べることにした。ラジオ塔は昭和の戦前期に、ラジオを普及させるために、全国の主要な公園、広場、神社といった、多くの人々が集まる場所に設置された。それは情報伝達を目的とするものであったが、日本が戦争へと進んでいくにつれて、政治宣伝のために利用された。今回の研究を通して、身近な場所にも、歴史や文化を感じさせるものがあることに、改めて気づかされた。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

ラジオ塔とラジオ塔が建設された場所
(徳島市ほか)

■利用した博物館・資料館等

徳島県立博物館



洪水から命を守れ!! これぞ究極の洪水対策

国指定重要文化財・日本遺産—田中家住宅—

鳴門教育大学附属中学校

新田 翔平

■研究の概要

近年、徳島でも台風などによって洪水が発生している。そこで、昔ながらの洪水対策がされている「田中家住宅」の17代目当主の田中誠さんに話をうかがうとともに、吉野川流域の環境を調べた。その結果、江戸時代から洪水災害に備えて、石垣を高くしたり、葦あしで葺いた屋根が洪水時に救命ボートになるといった形で、対策を講じていたことが分かった。今回の研究を通して、田中家住宅のような文化財を、今後も守っていかねばならないと強く思った。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

田中家住宅（石井町）、
洪水に関する文化財（徳島市）

■利用した博物館・資料館等

徳島県立博物館



八万の今昔 洪水と人々の暮らし ～フィールドワークで得たもの

徳島県立城南高等学校

池淵 万悠希、岩佐 千保、後藤田 琴音、山橋 あゆみ

■研究の概要

城南高等学校の周辺にある高地蔵や、同校の卒業生による課題研究レポートの内容から、徳島市八万町周辺のことに関心を持った。フィールドワークや関連文献の調査を行う中で、同地域で山神が信仰されていたこと、園瀬川の氾濫による洪水がしばしば起きていたこと、地神塔と水神・山神塔を寄せた基壇の存在や、それに関連する18世紀の阿波藩で起きた出来事などを知ることができた。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

城南高等学校付近の高地蔵、
八万町橋本の水神・山神塔（以上、徳島市）

■利用した博物館・資料館等

徳島県立文書館、徳島県立図書館、
徳島県立城南高等学校図書館



牛岐城と城主新開氏・その周辺の歴史について

徳島県立富岡東高等学校

露口 智理

■研究の概要

学校の校歌に出てくる「牛岐城」について、またその城山の城主であった人物について調べてみたいと思った。関連文献の調査や、史跡の訪問を行う中で、牛岐城があった城山の変遷について知ることができた。牛岐城の城主であった新開道善については、出生年をはじめとして不明な点があるものの、富岡の地で様々な功績を残したことや、阿波公方と良好な関係を築いていたことが推測される史料の存在を知ることができた。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

牛岐城跡、今市城、正福寺（以上、阿南市）
丈六寺（徳島市）

■利用した博物館・資料館等

阿南市立那賀川図書館、牛岐城址館、
阿南市立阿波公方・民俗資料館



有事の日本で活躍した曾祖父の生涯をたどる

未来高等学校
松本 雄介

■研究の概要

ある時、曾祖父が戦死していたことを知り、深く知りたいと思った。曾祖父に関係する写真やメモなどの資料とともに、曾祖父が所属していた佐世保海兵団や、厚生労働省で管理されている戦死者情報についても調査した結果、次のことが分かった。曾祖父は若年期に海軍志願兵としての経験を積んでいた。また、地元では農業の機械化に努めたため、人々から頼りにされていた。召集令状を受け取った曾祖父は、海軍砲術学校での訓練を経て、ニューギニアの戦線に向かい、日本に不利な戦況下で戦ったのである。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

三重津海軍所跡（佐賀県）
海上自衛隊佐世保史料館（長崎県）

■利用した博物館・資料館等

佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館
海上自衛隊佐世保史料館



審査結果

■中学生の部■

優秀賞 「地名から読み解くマイルーツ探訪～牛島八幡神社とわたし～」

鳴門教育大学附属中学校 川原 もも香

「洪水から命を守れ!! これぞ究極の洪水対策 国指定重要文化財・日本遺産一田中家住宅」

鳴門教育大学附属中学校 新田 翔平

奨励賞 「ラジオ塔を知る」

鳴門教育大学附属中学校 木下 倫歌

■高校生の部■

優秀賞 「有事の日本で活躍した曾祖父の生涯をたどる」

未来高等学校 松本 雄介

奨励賞 「八万の今昔 洪水と人々の暮らし～フィールドワークで得たもの～」

徳島県立城南高等学校 池淵 万悠希、岩佐 千保、後藤田 琴音、山橋 あゆみ

「牛岐城と城主新開氏・その周辺の歴史について」

徳島県立富岡東高等学校 露口 智理

審査委員

桑原 恵氏（徳島大学名誉教授）、佐藤 正志氏（摂南大学名誉教授）、藤川 智之氏（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター次長）

ガイダンス講座「フィールドワークに挑戦！」

令和5年7月16日（日）開催

○自主研究のガイダンスのため、集合場所である JR 二軒屋駅から出発して、徳島市八万町周辺にある史跡を歩いて巡りました。

参加者 7名

【行程】

JR 二軒屋駅→オッパシヨ石→徳島県立城南高校の水路跡→妙見庵跡→夷山城跡・円福寺→地神塔、水神・山神塔→若宮神社→徳島県立鳥居龍蔵記念博物館



ガイダンス講座の様子（左：妙見庵跡 / 右：円福寺）

現地研修会「文化遺産を巡る旅 in 和歌山」

令和5年11月19日（日）開催

○レポート提出者を対象として、和歌山県の文化遺産を巡りました。

参加者 8名

【行程】

徳島港→和歌山港→ねごろ歴史資料館、根来寺→和歌山城、わかやま歴史館→和歌山港→徳島港



現地研修会の様子

(上：根来寺 / 中：和歌山城 / 下：ねごろ歴史資料館)

鳥居龍藏記念 全国高校生歴史文化フォーラム

全国の高校生（徳島県内在住者は除く）から歴史・文化に関する自主研究を募集して一次審査を行い、優秀な研究を表彰しました。

さらに、一次審査の上位3組と「徳島歴史文化フォーラム(高校生の部)」の優秀賞受賞者1組に、口頭発表を行ってもらい、最優秀者を選考し、表彰しました。

フォーラム（発表会）

日時：令和6年2月18日（日）13：30～15：30

審査会場：文化の森イベントホール

題目・発表者（発表順）

- 1 「伊予の国小野谷に残る小野小町伝承の謎を解く3」
愛媛県立松山北高等学校 郷土研究部 森川 晴仁、岸本 美花、岡部 美紀
- 2 「矢板宿の今昔～現代に残る屋号～」
栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会 河野 晶
- 3 「壱岐勝本城跡の本丸虎口に関する研究」
長崎県立壱岐高等学校 東アジア歴史・中国語コース 歴史学専攻 武井 慎之介
- 4 「有事の日本で活躍した曾祖父の生涯をたどる」
未来高等学校 松本 雄介

審査結果

- 【最優秀賞】 「矢板宿の今昔～現代に残る屋号～」
栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会 河野 晶
- 【優秀賞】 「伊予の国小野谷に残る小野小町伝承の謎を解く3」
愛媛県立松山北高等学校 郷土研究部 森川 晴仁、岸本 美花、岡部 美紀
「地下軍需工場建設と本土決戦準備～東海軍管区の本土決戦構想を探る～」
岐阜県立関高等学校 地域研究部 杉浦 良太郎、鈴木 遙斗、梅村 颯太郎、酒向 達也
「壱岐勝本城跡の本丸虎口に関する研究」
長崎県立壱岐高等学校 東アジア歴史・中国語コース 歴史学専攻 武井 慎之介
- 【入賞】 「西条の名物「蚊」の謎―大正期の記述から―」
愛媛県立西条高等学校 地域・歴史研究部 栗田 晴一郎、請川 あかね、鶴川 快斗
「長良川水系におけるマガモの無双網猟に関する調査～猟師足立公成さんに学ぶ～」
岐阜県立関高等学校 鳥類研究班 大野 孝斗、山内 健心、津田 涼榎、濱口 天弥、船戸 ひなた、櫻井 蒼矢、大橋 立季、古田 侑暉
「『東美濃三方所城』をめぐる～山城と古文書から考える中濃の戦国史～」
岐阜県立関高等学校 地域研究部 森翔吾、神山 諒成、佐藤 孝亮、渡辺 俊太、岩原 知哉、土本 徳哉
「児山城の謎を追う～堀と土塁の形と広がり～」
栃木県立石橋高等学校 歴史研究部 児山城研究班 岡本 悠聖、野村 仁、櫻井 恵太、瀬尾 拓蒔
「戦時中の矢板市の様相～御前原秘匿飛行場と女性の勤労働員～」
栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会 歴史研究班 森 花菜子、葛西 夢彩
- 【佳作】 「開かれる越美国境」
鶯谷高等学校 社会研究サークル 横井 裕多
「坂上田村麻呂による蝦夷政策」
秋田県立秋田北高等学校 歴史研究部 菅原 瑛瑚、阿部 絢菜
「日本を愛したドイツ人～シーボルトは何故その半生を『日本』に捧げたのか～」
長崎県立長崎東高等学校 郷土研究部 庄司 澄音、林田 明莉、松永 百叶、濱洲 和佳

審査委員

桑原 恵氏（徳島大学名誉教授）、佐藤 正志氏（摂南大学名誉教授）、藤川 智之氏（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター次長）



全国高校生歴史文化フォーラムの様子

これまで新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで実施してきた研究発表会を、2023年度に初めて参加者が一堂に会して開催することができました。県内外の参加者同士の交流を図ることができました。

2023年度 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム 報告書

2024年7月1日 発行
編集・発行：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
〒770-8070 徳島市八万町向寺山（文化の森総合公園内）
TEL.088-668-2544 FAX.088-668-7197
ホームページ <https://torii-museum.bunmori.tokushima.jp>
印刷：星印刷株式会社



**歴史のドアを開けよう！
徳島から世界への挑戦！**